スタッキー妙眼老師

秋葉玄吾老師

鈴木包一老師

5 各種研修・人権委員会

毎年3月に駒澤大学教授池田魯参先生を拝請し、正法眼蔵の勉強会を行っている。今年で24回目の眼蔵会となる。その他、人権問題にも取り組み、先年は群馬県草津にあるハンセン病国立療養所栗生楽泉園への現地研修も行っている。

40周年記念講演会

昨年11月20日（土）、善光寺大門パティオ内にある「日和カフェ」を会場に、創立40周年の記念講演会を開催しました。テーマは、「アメリカに広がる曹洞禅」。講師に、大本山永平寺後堂鈴木包一老師、オークランド好人庵禅堂住職秋葉玄吾老師、サンフランシスコ禅センター住職スタッキー妙眼老師を拝請し行いました。〝カフェ〟という場所を選んだのは、我々青年会員と同じ世代の一般の方達に是非足を運んで欲しいというねらいがあったからです。

当日は、会員、来賓関係者、一般参加者、合わせて60名程のこじんまりとした講演会でしたが、会場内の雰囲気はとても良いものでした。残念ながらスペースの都合で当日の講師さんのお話の内容まで触れることができませんが、アメリカの禅センターは、日本の寺院に比べてとても風通しが良いように感じました。檀家制度が無いので当然かもしれませんが、一般の方が禅センターの色々な工夫により集い大勢の人達が交流しているのです。檀家制度（家族）の形が変わろうとしている現代の日本において、特に我々青年会世代が寺院を運営するにあたり、とても参考になる取り組みがそこにあるように思いました。

最後にこの講演会が開催できた事を、講師をお務め頂いた3人の御老師をはじめ、今までの礎を築いてくださった先輩諸老師各位、ご協力頂いた会員各位に深く感謝申し上げます。

余談ですが、スタッキー老師の申し出で講演会当日の朝、私の師寮寺で暁天坐禅を一緒にお勤めしました。AM5時にホテルまでスタッキー老師を車でお迎えに行くと、すでに黒衣で袈裟袋を持ち玄関の前で待っておられました。今振り返ってみるとその立ち姿がとても印象に残っています。

（第20期会長　山口泰祐）

Let's Begin!

やがて迎えるであろう50周年の記念事業に備え、なるべくコンパクトに、しかし平素ではできない事をしたい。「カフェで何かしない？」から始まった今回の記念事業であった。

山口現会長の素案を元に、企画内容・会場等々が徐々に具体化され、善光寺様の門前のカフェにて、アメリカのサンフランシスコ禅センター現住職スティーブ妙眼スタッキー老師をはじめとした他2名のご老師をお招きしての講演会の決定となった。

道元禅師が命がけで海を越え、日本に伝えた曹洞禅を、今度は多くの先達が未開の地に開教師として渡り、人々の布教教化に邁進された。その中の一人、サンフランシスコ禅センターを創立された、鈴木俊隆老師にゆかりのある老師方を迎え、今や世界の最先端に立つ「アメリカ」という地に於いて曹洞禅が、しいては布教教化の場としての禅センターがどのような役割を果たし、その集う人々の求めるところの宗意安心そして、地球との関係等々について、是非ご講演を頂戴しようという事となった。ゼロからスタートして新しい宗教を広め導く迄には、どんな道程があったのか、どう継承されたのかをお聴きしたかった。

また一方では、ホールや会館という広い舞台を借りての大きな行事ではなく、気軽に立ち寄れる街の喫茶店で、お茶を飲みながらの小さな講演会（法話の会）を実施してみることで、これからの可能性を見出せるのではないか、という目論見も大きな目的の一つであった。

当日の内容については、その日その場に居た者だけが感じられたこと。結果いろいろと反省すべき点は有って当たり前、しかし思い切ってこの機会を使わせて頂いたことは大成功であったと自負している者の一人である。我々青年僧の無限の精進を祈念して止まない。

（実行委員長　丸山祥存）

鈴木　包一　老師
大本山永平寺　後堂
静岡県焼津市　林覚院　住職

1939年生まれ。1966年、サンフランシスコ禅センター創立者、鈴木俊隆老師の後継者として林覚院の住職となる。
2006年、大本山 永平寺　東堂に就任。
2009年、大本山 永平寺　後堂となり、現在に至る。 剃道5段。

Hoitsu Suzuki is a son and Dharma heir of Shunryu Suzuki, the founder of San Francisco Zen Center. Since 1966 he has been an abbot of Rinso-in temple in Yaizu city, Shizuoka taking over his father. In 2006 he was appointed to lead the Zazen practice as Tanto at Eiheiji monastery, and since 2009 has been Godo or director of Zen training at Daihonzan Eiheiji. He has achieved 5th Dan in Kendo.

秋葉　玄吾　老師
北アメリカ国際布教師
カリフォルニア州オークランド市　好人庵禅堂　住職

昭和2年東京生まれ。
昭和5年2月25日大本山永平寺に7年間出家。この間に永平寺で首座を勤める。
昭和33年2月25日出山致本。カリフォルニア州サンフランシスコ禅センター、タサハラ禅マウンテンセンター、ミネソタ州立瞑想センターに滞在。
昭和35年1月6日2日アメリカ国際布教師に任命される。昭和40年6月1日オークランド市に滞在。
平成9年度アメリカ国際布教師、管長代理に任命される。平成12年3月末で布教師を勤める。
（ロサンゼルス）の住職に任命され平成12年3月末で布教師を勤める。

Gengo Akiba is founding abbot of Kojin an Zendo in Oakland California. He was born in Tokyo in 1943. He graduated the Department of English Literature at Komazawa University and began 7 years of Zen training at Eiheiji Monastery. He received Dharma transmission from Rev. Shoichi Chiba in 1979. He joined Zen practice at San Francisco Zen Center and Minnesota Zen Meditation Center for 18 months from 1983. Returning from U.S.A. he was assigned as an officer at Eiheiji Tokyo monastery for 2 years. Between 1997 and March of 2010 he served as a Bishop of Soto Zen Office in America as well as an abbot at Zenshoji temple in Los Angeles.

スティーブ　妙眼　スタッキー　老師
サンフランシスコ禅センター　住職

1971年、禅の修行をさす。1993年、鈴木俊隆老師の法を引
センター北住職。宗純ウイツマン老師から法を継ぐ。サンフラン
シスコ郊外のリンダ市にてアンファーア禅センターを創立し、
現在は Shogaku 禅協会の僧侶養成プログラムの教授を務める。
全アメリカ人人文系学会構成する曹洞禅ら教協会の会員名
カウンセリングの博士課程を修了し、家族システムに関する研
究中。研究後を使う禅庭園の設計施工者としてもみられる。
レーン・オレセン夫人と3人の子供、2人の孫娘をもつ。

Myogen Steve Stücky is Co-Abbot of San Francisco Zen Center. He began Zen training in 1971 and received Dharma transmission from Abbot Sojun Mel Weitzman in 1993 in the lineage of Shunryu Suzuki Roshi. He is also the founder of Dharma Eye Zen Sangha in Marin County and is currently on the faculty of the Shogaku Zen Institute's "SPOT" training. Steve is a past president of the Soto Zen Buddhist Association. He has completed a doctoral program in pastoral counseling, and has completed level two training in Internal Family Systems Therapy. For many years he was a landscape designer/contractor well known for his Zen gardens with rocks and waterfalls. He and spouse Lane Olsen have three adult children and two grand-daughters.